



## ドイツ証券株式会社、 藤和不動産株式会社による第2回および第3回無担保社債発行で共同主幹事

【2007年6月19日、東京】ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区）は、本日、藤和不動産株式会社による第2回および第3回無担保社債（社債間限定順位特約付）の発行において、三菱UFJ証券株式会社とともに共同主幹事を務め、同債券を成功裡にローンチした旨を公表しました。

この度発行した藤和不動産株式会社による第2回ならびに第3回無担保社債は、共に発行価格100円、発行額100億円であり、第2回債は期間3年で表面利率2.29%、第3回債は期間5年で表面利率2.77%となっています。また、共に払込日は2007年6月26日、利払日は毎年6月26日および12月26日の2回となっています。なお、両債券ともに、社債間限定同順位特約が付されています。

両債券は、株式会社日本格付研究所（JCR）からBBB-（トリプルB マイナス）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社の取締役兼グローバル・マーケッツ統括本部長のヘンリー・リショットは、「この度、藤和不動産株式会社にとって昨年2月の3年債起債以来、2度目となる国内公募債発行において、共同主幹事を務めることができたことを大変嬉しく思います。今回は、3年債と5年債の2本立ての起債によって、前回と比べて年限の長期化が図られ、またスプレッドも大幅に縮小しました。さらに、発行体のクレジットが評価されたことにより、投資顧問会社、信託銀行、保険会社に加え、地方の金融機関など幅広い投資家から強い需要を得ることができました。ドイツ証券株式会社は、今後も顧客重視の姿勢を徹底し、顧客企業の財務・経営戦略に沿った幅広いニーズにお応えできるよう、内外の資本市場で培った経験とノウハウを積極的に活用していく所存です」と述べています。

以上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は7万3,114人にのぼり、世界75カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては1,201名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎司）、DB信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部

[www.db.com/japan](http://www.db.com/japan)